

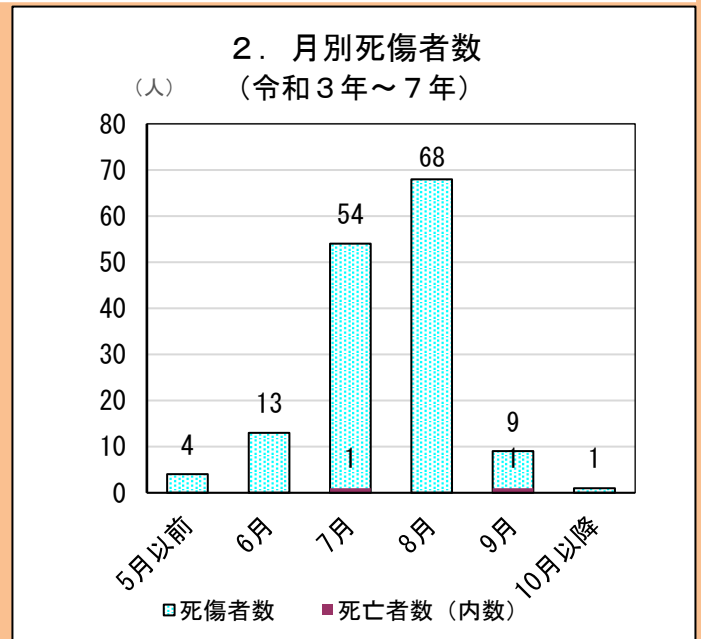
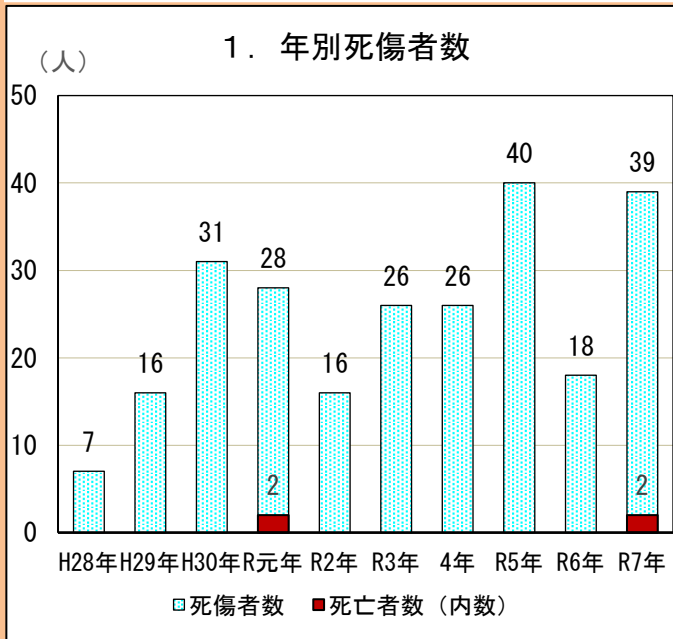
# 令和7年 熱中症による労働災害発生状況

～県内の熱中症による死傷者数は前年に比べ倍増～

新潟県内の職場における熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者の数（以下「死傷者数」という。）は、令和7年において39人となり、そのうち**2名**の方が亡くなりました。

過去10年間で見ると死傷者数は2番目に多く、死亡者数はワーストタイとなっています。

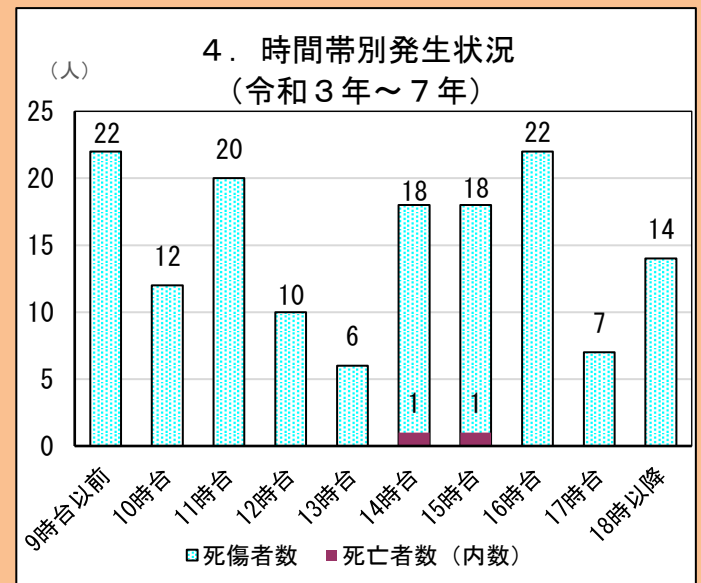
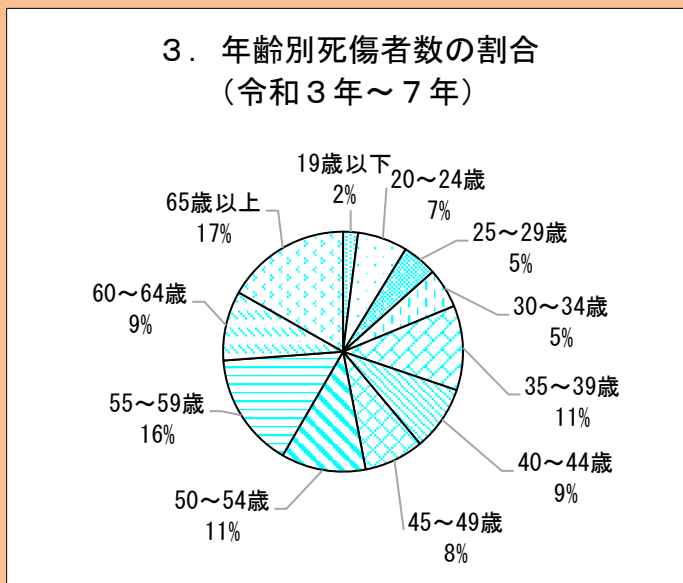
過去5年間の熱中症による労働災害件数を月別に分類すると、7、8月の増加が顕著であり、この2カ月で全体の81%を占める結果となっています。



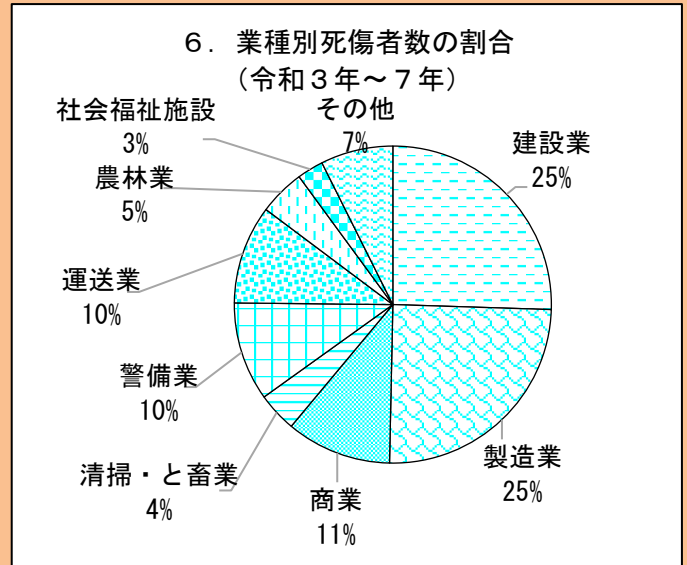
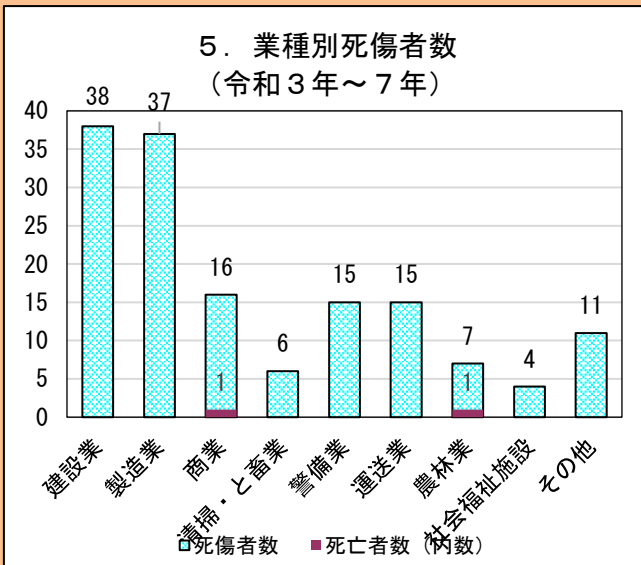
過去5年間の年齢別の熱中症による死傷者数をみると、全体の約半数が50歳以上となっています。

また、時間帯別の熱中症の死傷者数をみると、16時台が最も多くなっています。

17・18時台の発生の中には、日中の作業後に体調が悪化して病院に搬送される事例も認められます。



過去5年間の業種別の熱中症による死傷者数をみると、最も多いのが建設業であり、次いで製造業で多く発生しています。また、死亡災害は商業と農林業においてそれぞれ1件ずつ発生しています。



## STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

- 重点事項
- ☐ 暑さ指数 (WBGT) の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること
  - ☐ 「早期発見のための体制整備」「重篤化を防止するための措置の実施手順作成」「関係作業員への周知」を行うこと
  - ☐ 糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮を行うこと

### Check! 熱中症の予備軍 『隠れ脱水症』のを見つけ方

#### 爪押しでセルフチェック



### Check! 熱中症の予備軍 『隠れ脱水症』のを見つけ方

#### 尿の色でセルフチェック

①	いい感じ。普段通りに水分をとりましょう。	
②	問題はありませんが、もう少し給水しましょう (コップ1杯程度)。	
③	1時間以内に約250mlの水分をとりましょう。尿外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。	②～⑤ 水分を補給して 身体の水分量を 回復させましょう
④	今すぐ250mlの水分をとりましょう。尿外、あるいは発汗していれば500mlの水分をとりましょう。	
⑤	今すぐ1000mlの水分をとりましょう。この色より濃い、あるいは赤/茶色が混じっているときは、脱水症状以外の問題が考えられます。すぐに病院に行きましょう。	⑤より濃いときは すぐに報告して下さい

身体の水分量が不足

## 熱中症の応急手当

いつもと違うと思ったら、すぐに **119** 番

救急車到着まで

作業着を脱がせ

水をかけ 全身を急速冷却

前日のチェック	仕事前のチェック
<input checked="" type="checkbox"/> 仕事前日の飲酒は控えめに <input checked="" type="checkbox"/> ぐっすり眠る <input checked="" type="checkbox"/> 熱中症警戒アラート確認	<input checked="" type="checkbox"/> よく眠れたか <input checked="" type="checkbox"/> 食事をしたか <input checked="" type="checkbox"/> 体調は良いか <input checked="" type="checkbox"/> 二日酔いしていないか <input checked="" type="checkbox"/> 熱中症警戒アラート確認
仕事中のチェック	
<input checked="" type="checkbox"/> 単独作業を避け、声をかけ合う <input checked="" type="checkbox"/> 監督者は現場パトロール <input checked="" type="checkbox"/> 水分・塩分の補給 <input checked="" type="checkbox"/> こまめに休憩	

詳しくはコチラ

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare